

YWCA アンチレイシズムツールキット

レイシズムは人のクオリティオブライフを損なう。

無害どころではなく、人の機会、尊厳、安全、そして自由を損なう。

人種的正義と女性の経済的自立はYWCAの特質プログラムである。それらは我々のミッションを遂行する。それらは我々のブランドの反映である。

それらはYWCAと他の社会意識組織を区別するものである。

我々の特質プログラムは直接的な影響力を持ち、測定可能な結果を伴う意味のある変化を作り出す。我々はこの問題に対する認識を高めようとするだけでなく、我々は現実の変化を及ぼそうとしている。我々のゴールは未来への道を平坦にしようとするものではない。未来を、より良い未来を作り出すことである。

人種的偏見 + 制度的な力 = レイシズム

目次

1. YWCAはレイシズムのない世界を作り出す手伝いができる。
2. 人種的正義のためにあなたが出来る10個の簡単なこと。
3. YWCAの人種的正義に関する歴史
4. 多様性対白人特權
5. レイシズムについて議論することの利点

あなたはレイシズムのない世界を作り出す手伝いができる。

- ・ 差異と全ての個々人の視点を尊重しなさい。
- ・ 異なるバックグラウンドを持つ人々に、彼らの経験をより良く理解するため、彼らにとってレイシズムが何を意味するのか訪ねなさい。
- ・ ミーティング、活動、ポスターそして調査を計画する時は、全員が参加することを確実にするため、排他的になってはなりません。しかし、出席目的だけのためにそれを行ってはなりません。あなたの組織が熱心に多様性を受け入れるようにするのです。
- ・ 人種的なジョークは愉快なものではありません。笑ってはいけません。遮って人がそうしたジョークを言うのをやめるように頼みなさい。
- ・ 偏見を持ったおしゃべりやレイシスト行動を許容してはなりません。割り込んで、そういう関係者たちに、彼らの振る舞いが受け入れ難いことを伝えなさい。
- ・ 不正義のリストを作り、それらと戦うことを規定しなさい。
- ・ それぞれの個人を平等で独自のものであると見るようにしなさい。
- ・ 人々の民族性を描写する時、彼らの好みを聞きなさい。例えば、ヒスパニックと呼ばれるよりラティーノとされることを好む人や、アフリカ系アメリカ人よりブラックと呼ばれたい人もいます。
- ・ レイシズムについてのニュースを議論するため、そして人種的正義の話題に取り組む話者を取り上げるためのランチミーティングを組織しなさい。それから、議論を超えた活動へとつなげなさい。
- ・ 民族料理を作り、味わったことがない人をディナーに招きなさい。他の文化を探求する会話を始めるのにそれを使いなさい。
- ・ 新聞や雑誌、そしてTVスポンサーに人々の品位を貶める公的声明や行動について、投書しなさい。
- ・ あなたの家族や友人のために、他者の受け入れと偏りのない敬意を示すことにより、模範となりなさい。
- ・ 個人、組織、システムなどの全てのレベルでレイシズムと戦うのに必要な知識と自信であなた自信を武装するために多様性とアンチレイシズムのワークショップへ出席しなさい。ワークショップはYWCAを通して提供される。そして、大学やその他の社会正義団体を通じて様々なクラスがしばしば利用できる。
- ・ あなたの受け継いだものを誇り、そして他の人々があなたについて学べるように共有しなさい。レイシズムの根絶のための活動的な方法を講じている人達を探し、彼らに加わりなさい。

人種的正義のためにあなたが出来る10個の簡単なこと。

1. レイリスト、セクリスト、エイジスト、ホモフォビア、その他のステレオタイプ的ジョークや決め付けを笑ってはいけません。笑うことにより、あなたはそのジョークが適切であると認めていることになり、そして、より不適切なコメントを奨励していることになるのです。あなたの沈黙にあなたを代弁させてはなりません。単に「私はそれを面白いとは思いません」または「私はそのようなジョークを評価しません」と言うのです。
2. **あなたと異なる人々を知ろうと努力しなさい。**他の人々との共通点を探し、違いを称賛しなさい。私たちは皆に関するものから学び、それを評価することができます。
3. **他の人々と彼らの文化について学びなさい。**他の人々について学ぶことにより、あなたの人生は遙かに実り多いものになり、そしてあなたの自身の文化に関する理解も深まるでしょう。
4. **喋る前に考えなさい。**あなたにその意図があろうとなかろうと、言葉は人を傷つけることができます。人を描写する時、その人の人種に言及することが、その物語にとって重要か考えなさい。あなたは中南米から来た人を皆、メキシコ人と呼びますか？もしあなたが誰かの出身国を知らなければ、決めつけてはなりません。ブラックと呼ばれるのが好きな人もいれば、他方、アフリカ系アメリカ人を好む人もいます。ラティーノを好む人もいれば、ヒスパニックを好む人もいます。もしどちらを使うべきかわからなければ、訪ねなさい。正確な言語を使うことは重要です。
5. **ロールモデルになりなさい。**差別的な視点や習慣に対して声をあげなさい、特にあなたの意見を尊重する友達や家族と。批判してはいけませんが、問題について、そしてあなた自身の経験について他の人を教育するのを助けなさい。
6. **決めつけをしてはなりません。**ステレオタイプは誰も彼もを傷つけます。あなたの偏見がどのようなものかを調査し、皆を個々人として見るよう調整しなさい。
7. **馴染みのない人を探求しなさい。**あなたがマイノリティとなる組織の会合や宗教的サービス、見知らぬ地域への旅行に参加しなさい。例えば、もしあなたがクリスチヤンなら、ユダヤ教会の礼拝に出席しなさい。もしあなた全員白人の郊外の学校に通っているなら、都心部の多文化学校を訪ねなさい。この直接の体験は啓発的でありますし、あなたに相対的な見方を与えるでしょう。
8. **あなた自身のものと異なるグループのメンバーとともに計画に取り組みなさい。**対等な人間として異なるグループに属する他の人と共に、普通の計画に取り組むことは、偏見を捨て他者との親交を深める最良の方法の一つです。
9. **率先的な親でありなさい。**あなたの子供を若いうちに多様性に晒しなさい。他のグループの視点を説明する物語を読みなさい。ステレオタイプが存在するテレビ番組や映画や本について議論しなさい。子供たちはとても幼い頃、偏見や偏向が形成される前に、異なるグループに属する他の子供達を知ることから利益を得ることができます。
10. **反偏見そしてアンチレイシズムの組織を支援しなさい。**あなたの努力がボランティア活動であっても、募金活動であっても、提唱者であることであっても、同じゴールに向かって働く他のグループと働くことはあなたと共同体にとって利益をもたらすものでしょう。あなたは素晴らしい人たちに会い、あなたの努力に対する真の支援を見つけるでしょう。参加することにより、あなたの声は地域において大きな違いを生むことができるでしょう。ボランティアになることであなたの時間をYWCAに寄付しなさい。

YWCAの人種的正義に関する歴史

1858	最初の女性による組織を形成:「レディスクリスチャンアソシエーション」ニューヨーク
1889	最初のアフリカ系アメリカ人 YWCA 支部: デイトナ(オハイオ州)
1890	最初のアメリカインディアンの若い女性の為の YWCA: チロッコ(オクラホマ州)
1891	最初の公共カフェテリア: YWCA カンザス
1894	米、英、スウェーデン、ノルウェーによる世界 YWCA 発足: インドと中国に進出: インドにて、最初のアメリカ人書記がインドに到着。
1898	7人のアフリカ系アメリカ人学生協会支部設立
1909	アフリカ系アメリカ人大学にて第一書記共に働く。YW の学生数 2 倍に。
1911	移民家族の為の新しい YWCA 国際機関が二ヶ国語教育を開始。
1913	エヴァ・ボウルズ、地方の YW 協会で働く最初のアフリカ系アメリカ人書記間に任命
1915	アメリカ南部での最初の人種間会議(ルイスビル)
1916	最初の第二外国語としての英語教室ニューヨーク
1918	17 の YWCA がホステスハウスを分離黒人兵士のためにレクリエーションとサービスの拠点として経営
1924	最初のアフリカ系アメリカ人女性が YWCA 全国委員会に選出
1932	地方の YWCA が大会活動により「あらゆる形でリンチと集団暴行に対する脅威に対して効果的である健全な世論を促進する」と主張
1933	YWCA 全国委員会、司法監査の為、委員をスコットボロ事件のアラバマ州ディケーターに送る。
1934	YWCA、大会にて、分離に代わる人種間協調の連邦方針、黒人公民権運動保護努力を奨励/支援を主張
1936	南部で最初の共学大学間人種間学生大会開催 シャウ大学、ノースカロライナ州ローリー
1938	YWCA 大会の学生達、YW とコミュニティライフにおいて分離と差別の調査を要求。
1942	YWCA、第二次大戦中強制収容所の日系アメリカ人女性に対するサービスを拡大
1946	大会が人種間憲章を採用。協会生命の主流の中に人種的不正と黒人女性の完全統合の完成の為 YWCA が働くことを義務付け。
1955	大会が地方の YW と全国委員会に全ての女性の包括性に向けた進歩の提示と 1958 年の大会にて採択される「具体的な前進」の決定 非合法の友愛会と女子社交クラブでの人種差別に対する大学運営を説得するための YWCA 全国学生集会選挙
1960	アトランタ YWCA カフェテリアの黒人への開放、アトランタで最初の分離公的ダイニング施設に。全国委員会は、非暴力的な市民権運動と座り込みに關係する学生 YWCA メンバーの支持を再確認。
1965	YWCA 人種的正義事務所の設立 学生 YWCA が南アのアパルトヘイトに反対の表決を行い、全国委員会に YWCA 投資を調査するよう主張。

1967	大会は憲法修正の脱退を採択。そして YW は「方針と実践に置いて完全に統合」はされないことに。
1976	大会は「一つの命令」を採択。レイシズムが存在するところはどこでもどのような必要な手段を用いてもそれを撲滅するため(一つの命令を参照:歴史的観点)
1974	YWCA 支援者会議～内部の人種主義の規模を解釈するために開始される研究として
1974	YWCA 支援者会議～内部の人種主義の規模を解釈するために開始される研究として
1979	大会は 80 年代の鍵となるプログラムを承認。多文化関係、優遇措置(積極的差別解消)、第三世界の人々と女性に及ぼす社会状況。
1980	YW は継続して参政権運動と全国、州、地域の積極的差別解消プログラムの維持の為に働き続ける。
1983	YWCA アメリカ 125 周年記念
1990	YWCA アメリカ人種的正義評議会にて鍵となる市民権利指導者、公務員と大学代表は人種的な司法トレーニングの青写真を作成
1992	ロドニーキング事件/ロス暴動に呼応して YWCA は最初の人種差別撲滅宣言記念日を組織、ワシントン DC 記者会見でキックオフ宣言。YWCA は全国規模で参加。
1994	YWCA アメリカ、人種関係の会話において YWCA の置かれたコミュニティと共同してレイシズム研究会とのパートナーシップを開始
1995	YWCA 非暴力週間の設立。一日を憎悪と人種関係の暴力に対する代案に注力した毎年の一週間規模のキャンペーン
1997	YWCA、人種関係改善のために働くすべてのアメリカ人の為に重要性を強調するため、その反レイシズム競争を設立
1998	YWCAを効果的な人種関係問題取り組みにおけるリーダとして YWCAを認めたクリントン大統領のパートナーシップ。YWCA の人種差別撲滅宣言記念日を記念するため、そして憎悪を消し去るため、クリントン大統領は全国の知事たちに彼らの州に置いて州規模の対話の日を宣言するようにそして彼らのコミュニティで人種関係と和解に関して対話を実施するために地域の YWCA とパートナーになるように「行動の呼びかけ」を宣言。
2001	完全な変化の為の歩みを採択。YWCA はトップダウン型からボトムアップ型の草の根組織にシフト。地域の協会は地域に結合し、全国調整集会の地域代表を選出。彼らはまた、ホールマークプログラム(特質プログラム)を採択－女性と人種正義の経済権限付与、ブランドアイデンティティの活性化の為のゴールをホールマークプログラムに設定し、支持の強調を刷新、30 歳以下のリーダーを育成し世界 YWCA との結びつきを増強。
2006	レイシズムを撲滅するため、YWCA の総合的な力を高める一会話を次のレベルに移行し、YWCA のベスト活動を調査し、全ての人々の為の完全平等の為の計画を創出するために国を越えて協会をまとめて、レイシズム撲滅米 YWCA 最高会議がバーミンガム(アラバマ州)で開催。
2007	如何に地方の協会がプログラムに対し YWCA の全国ホールマーク基準を満たすことが出来るかの例を供するため、全国調整会議ホールマーク委員会が、4 つの人種的正義と 3 つの経済的権限付与プログラムを選択。モデルは彼らの効果の改善と検出可能な全国からの他の YWCA によって実施されている平易さによって選ばれる。

多様性対白人特權

クリスティナ・スリーターインタビュー

これは、カルフォルニア州立大一モントレー校の教授であり、多文化教育、批判的教育学そして差異の政治学の共同編集者であるクリスティナ・スリーターのインタビューをまとめたものである。スリーターはリシンキングスクールのバーバラ・マイナーとボブ・ピーターソンによりインタビューされた。彼女はなぜマルチカルチャリズムが、その中核において、レイシズムに対する闘争であり多様性の理解の向こう側へ行かねばならないのかを説明した。

Q:貴方は多文化教育の重要性を多様性の理解の方法としての多文化主義よりむしろ白人のレイシズムに対する闘争として強調しています。それはなぜ?

歴史的そして同時代の社会の両方に、この国では人種的そして民族的グループ間の関係が不平等な力の環境の中の枠にはめられてきました。ヨーロッパ系の人々は一般的に土地を要求し、資源を要求し、言語の権利を主張する力を当然のものと考えます。そればかりか、アメリカ人としての我々の文化やアイデンティティを枠にはめる権利まで主張するのです。コロンブスが北米大陸に上陸してからずっとそうなのです。

一般的に、ヨーロッパ系の人々は未だに白人特權を求めていました。これは特に裕福なヨーロッパ系の人々に当てはまります。彼らが白人に見える利益を受けている一方で、私は様々な形で公民権を奪われている多くの貧しい人たちを知っています。

私は、多文化教育は市民権運動から出てきたという事実に戻り続けます。それは単に「あなた方の食べ物について教えてください、そして私の食べ物をいくつか一緒に」というものではありませんでした。第一の問題は教育の質への機会の一つでした。もし私達が、何故アクセスが継続的に重要なのかの問い合わせを扱っていないとしたら、そしてなぜそんなにたくさんの富がありながらなぜこんなにたくさんの貧困があるのかのような問題を扱っていないとしたら、多文化主義の核となる問題を扱っていないことになります。

陳腐に聞こえるかもしれません、中心的問題は今も正義の一つなのです。

Q.あなたは白人の特權についてたくさん語っていますが、なぜあなたはその言葉を使い、白人の教師にそれをどのように説明するのですか?

もし私が何かを上手くやれるなら、誰も「貴方は貴方の種族の誇りだ」とは言わないでしょう。それを言うことは、その人が属する人種は通常それほど上手くできないことを仮定

します。

なぜなら私は白人で、私については誰もそれを言いません。その上、そのような声明はしばしば有色人種の子供達を囲んでいます。人々はその知的能力について、家族の支援について、単純に肌の色に基づき、決めつけをします。

それが私の言う単に個人のレベルで白人の特権を得るということです。より制度的なレベルでは、私は時々次の例を使います。

私の祖父は不動産を買いそれを改修して売ることで結構成功した塗装業者兼壁紙業者でした。私は彼が小学二年生までの教育しか受けていなかったという話を聞いて育ち、彼がどんなにうまくやったかを見ました。その上、財産所有が白人にとってはるかに簡単なことだった時代に、彼は不動産を買っていました。

ニューディール政策の一環として、フランクリン・ルーズベルトは低コスト連邦住宅ローン助成金のための金が白人家族だけに利用できるように南部の上院議員たちと取引しました。なぜなら、南部の上院議員はアフリカ系アメリカ人たちを小作人として働かせ続けたかったからです。

ニューディール政策の一部は、とりわけ私の祖父のような人々が不動産を買える様に作られていました。そして、私は大系的、歴史的な白人のレイシズムのいくらかの恩恵を受け継いでいるのです。今日でさえ、私は不動産仲介事務所へ入って行くことができ、おそらく「より良い」地域にある物件を見せられるでしょう。私はまた、おそらくより良い住宅ローン契約を与えられるでしょう。

それらは如何に白人のレイシズムが私に恩恵を与え続けているかの例です。私はそれに気付くこともあります。気がつかないこともあります。

Q.多くの白人が、白人のレイシズム、白人優位、白人特権のような言葉を使うのを拒みます。「私が今の地位にいるのは私が懸命に働いたからであって、私が白人だからではない」と彼らがするかもしれない抗弁をあなたはどのように突破しますか？

ひとつの戦術として、家族の物語を見てそれらの物語を歴史的文脈に結びつけることがあるでしょう。もう一度例として私の祖父の話をしましょう。私の祖父はとても懸命に働きました。そして私は彼がそうでなかつたということはできません。しかし、私は彼の成功を個別のものとして扱うことはできません。私は彼が何に対してアクセスできたかという歴史的文脈を見る必要があります。これについて私は次のように言うことができます。そうです、私の祖父は懸命に働きました。しかし、彼と同じように懸命に働いた白人でない人々に対してはドアは閉じられていた状況だったのです。

Q.多くの教師が「それは80年も前のことでのこと、今は人種差別の無い世の中だ。そして、人種に基づく差別は違法なんです。どうすればあなたは白人特権が今も存在すると言えるんですか?」と応じるかもしれません。

私はしばしば、教え子に外に出て共同体の小さな調査をさせます。ここには、手助けとなる演習があります。調査のうちの一つは学生を白人と有色人種で組ませることを含みます。時々彼らは貸し出し物件を見て、一人が入って行き、それからもう一人が入ります。そしてその後彼らはメモを比較します。私の同僚は学生たちと、同じ仕事に応募するという、似たような演習をしました。時々私の学生たちは一緒に買い物に行きます。- 人気のあるものと思われる店へ - そして、彼らは店員による彼らの扱いを比較します。そこでは、必ず彼らは偏った異なる扱いを受けて帰ってきます。

これらの調査の後で、学生は何が起きたか説明しようとするでしょう。有色人種の学生は扱いが異なることに驚きませんが、白人の学生は驚く傾向があります。そして、何人かはこう言うでしょう。「まあ、あれは単にあの店員の問題だ。虫の居所でも悪かったのだろう。」

もし白人の学生達が、一つの特別な例という視点のみで異なる扱いを考えてもよいとするなら、彼らはいまだにその現象を過小評価し個別のこととして扱うことが出来ることになります。しかし、私が制度的レイシズムについて教えてきたクラスでは、学生達のグループに参加させて彼らが見つけたことを報告させるようにするでしょう。

もし学生の10人のうち8人が、レイシズムの出来事を報告すれば、今日、レイシズムが起っていないというのははるかに難しくなります。そして私がクラスに持ち込む情報（レイシズムに対する統計的データと住宅ローン、そして能力別クラス編成におけるレイシズム、そして警察による人種的プロファイリングにおけるレイシズム）と併せて彼らがそのデータを報告するとき、それは強力な声明になります。

Q.多文化的教育はレイシストの白人たちに対して、自助運動以上の物です。これは学校と多文化教育にどんな関係がありますか？

教師はしばしば単に文化的な違いについて教えるという視点で多文化教育の枠組みを作ろうとするでしょう。これは頻繁に目にする一種のステレオタイプ的な方法です。私は感謝祭のころ、清教徒達とインディアンが最初の感謝祭で一緒に座っていたことについてレッスンをする幼稚園の先生と話したことを思い出します。彼女は原住民の文化について教えるためのツールとしてそれを使いたがっていました。

「しかしこれはお話ではありません」私は言いました。「原住民の視点から、本当の物語は大量殺戮であり、土地の収奪だったのです。子供たちにとっては、その物語を理解する

ことは重要です。今日、原住民の視点では、重要なことは土地の返還を要求すること、主権を回復すること、経済を立て直すこと、破壊された文化を取り戻し立て直すことなのです。もし、今日、子供たちが本当に白人と原住民の関係を理解したいなら、私たちはそれを正確な歴史的文脈の中で理解する必要があります。」

彼女は、「子供たちはそれには幼すぎます」と答えました。私はそれには同意しません。幼い子供たちの教師がはるかに正確な歴史を教えるのを見てきました。もしあなたが物事を適切な枠組みで彼らが理解できるようにとらえるなら、私は子供たちが幼すぎるとは思いません。

例えば、最近私は4・5学年担当の教師が出入国管理部門の一部としての差別について教えるのを見ました。彼女は学校もかつては少年にのみスポーツをすることを許したと語り、生徒たちにそれがフェアなことか考えるよう頼みました。もちろん生徒達は、それはフェアでないと言い、彼らの一部はそれがどんなに馬鹿げた考えだったかと、クスクス笑いました。

それから、彼女は移民が歴史的に経験してきた一種の差別に対して同じ考え方を適用しました。彼女が教えた一つの考え方、エンジェル島（カルフォルニア州）を通ってきたアジア系移民が経験した差別でした。ある生徒は何が差別なのかを理解しました。それから彼女は彼らにだれもがその間中ずっと同じ差別を経験したわけではないことを理解する手助けをしようとした。彼女は私に生徒達がニュアンスを理解することを手助けするのは難しいと語りました。というのは、彼らは一度それを理解すると、一つの考え方を均一に皆に対して適用したがる傾向があったからです

Q.あなたは個々人の偏見に注目した差別の心理学的な表現と、社会的、経済的、そして政治的構造において現れる制度的レイシズムの間の差について書かれました。なぜ制度的レイシズムの理解に取り組むことが重要なのですか？

能力別学級編成の様な特定の教育問題を見てみましょう。教師として、もし私がレイシズムを個々の物として扱おうとすれば、私は私自身を偏見の少ない、より受容性に富む人とする方法を見出ででしょう。私はそのような仕事をするのは人々にとってとてもよいことだと思います。しかし、もしそれだけなら、それは「いま私は良い白人である。レイシズムの自分自身を消し去った。そして全ての人々を受け入れています」というところに導くことが出来ます。

しかし、あなたが「良い白人」であること、そして、今も子供たちが彼らの学習能力の見積もりに基づく順序付けされており、より低いレベルの学級が圧倒的に有色人種や低所得者層の子供で占められている学校にいることができるのです。そのようにして、能力別学級編成のシステムは、制度的レイシズムの一例となり、それは子供たちを人種と社会階層

で順序づける方法なのです。多文化主義がこれらの制度的不平等に取り組むのは重要です。

Q.もしも教師が「私は子供たちを人種で順序づけたりしない。そういうのを嫌悪している。しかし、より努力する子供もいれば、家族からのより多い支援を受けられる子供もいる」と言ったらどうします？

もしあなたが異なる能力別学級で教えられている教室に入って行ったら、非常に頻繁にあなたは定性的に異なる教育を見ることになるでしょう。そしてそれは能力別学級編成を永続化させる傾向があります。

「なんてこと、あなたが子供たちに多くを期待するようになると、子供たちは、その期待のレベルまで上がっていく傾向があるのです」一つ古典的な例をあげましょう。

サリナスの街で、2年ほど前、高校に上がるだけの学力が無い何人かの8学年の子供たちがいました。予想では、彼らは学力的に高校で生き残る準備が出来ていないということでした。

これらの子供たちは、システムが子供の針路を維持するような良い仕事をしていないことに気がつきました。そうして彼らは何とかして高校に入学しました。彼らは彼らに第一に気付かれるような振る舞いをへらし、一種の紛れ込みをしました。一学年の半分が過ぎ、彼らの8学年の時の教師が尋ねました。「おい、この子供たちに何が起ったんだ、彼らは8学年にいないぞ」そして彼らは子供たちが学業上申し分ない状態で高校にいるのを発見しました。子供たちは良く学ぶ能力を持っていて、そして彼らは、もし彼らがより挑戦が出来る環境に入つていけば、十分やっていけることを知っていたのです。

しばしば、私たちは子供たちに多くを期待しないことで彼らを抑制するのです。私はシアトルで特殊学級を教えていたころから部分的にそれを言っています。私は、子供たちが何が出来るかよりむしろ、子供たちが何をできないかに注目するように訓練されました。私は子供たちが私が気がつかないたくさん的能力を持っていることに気がついたので、私の期待は目に見えて高まりました。私のアプローチは彼らを矯正しようとするところから彼らが出来ることを教えるように変わりました。そしてそれは実際とても重要なことでした。

そこから私は、私たちが子供らに対して抱く期待について、そして私たちがどのようにそれらの期待を教えるかについて問い合わせ始めました。能力別学級編成システムは、両親が面倒をみなかつたり、彼らが言語障害を持っていたり、周りにだれも彼らに宿題をするように言わなかつたり、そうした多くのものを欠いているような低所得者層出身の子供や有色人種の子供についての推定に基づいて作られています。そうして我々は推定の周りに教育を作っています。

Q.人種不認識アプローチの採用により、有色人種の学生に対して神経質になるという白人の教師もいます。彼らは「私はこの子供を黒人の子供としては扱わない。子供は子供だ。

私は全員を平等に扱う」と言うでしょう。あなたはどのように答えますか？

人種不認識アプローチにおいて、学生についてあなたが見ていない多くのことがあります。例えば、もしあなたがメキシコ系の子供を受け持つことになったら、あなたは「私はメキシコ人の子供を見ない。単に子供を見る」と言います。あなたは、あなた自身がその子の文化やコミュニティについて知ることを妨げているのです。それは、その生徒の重要な部分なのです。あなたは、その子の家族がどこから来たかどれだけ知っていますか？あなたは、その子が参加するメキシコの祝日と祭りについてどれだけ知っていますか？その子が属する教会の伝統や家族の記念日については？その子が家で学んでいるメキシコ系アメリカ人の文学や物語については？

もし教師が人種不認識であることを主張するなら、その教師は彼女自身を「私はその子供の背景については知らない、私はそれが実際に重要だとは思わないし、それについて学ぼうとも思わない」という立場に立たせているのです。

Q.あなたは、死ぬまで白人教師を教育できる人はいるが、長期的に見れば、学校が白人に支配された制度を維持しないように有色人種の教師の数を増やすことがより重要だと主張しましたが、それはなぜですか？

私はこれを幾つかの異なることに基づいて主張しています。第一に、もしあなたが有色人種の子供の最良の教師は誰かについての調査を見たら、一般的には、彼らはその子供のコミュニティの出身なのです。これを非常によく示した研究として、グロリア・ラドソン・ビリングス著「夢の維持者達：アフリカ系アメリカ人の子供の優秀な教師について」があります。これが私の主張の一つです。

二つ目の私の主張は、教師/教育者として、文化的に多様な学校で、大多数を占める白人学生のグループに教える準備をしようとした先の15年以上の私の仕事を含みます。白人の教師を教育するためにすべきことはたくさんあると私が考えているにもかかわらず、彼らの教師としてのトレーニングの終了によって、彼らが始めようとし、そして終えようとするのを見ると、問題の表面的な理解で終わってしまうのです。彼らが、人々が広範囲に彼らと働き続けようとするところに入っていくこうとしない限りは。私は多文化教育と進歩主義教育の表面的な理解を持って入っていく人たちに都会の学校に定着してほしくはありません。

私の述べる三番目の事は、成人の多文化集団で働いた経験です。私が教えていたカルフォルニア州立大モントレイ校にて、全教職員の半分は有色人種でした。私が出会った議論、テーブルに上がる問題、コミュニティとのつながり、議論へ入る知恵の豊かさ。これらは全て定性的に私が働いたことのある白人の教育者グループが大多数を占める場所とは異なる物でした。

Q.あなたの扱う大部分は教師の教育についてであり、そしてそこでは、教師志望者は多文化主義に対する少なくともいくらかの支援を持つ傾向があります。アンチレイシスト教育に関わっているが彼ら自身で全てをできないことを知っている—そして多分彼らの学校や地域で孤立していると感じている教室の先生に対し何かアドバイスがありますか？

私は人々に、彼らに支援を提供するであろう人のいるネットワークや組織に参加するようになります。教育活動家国家連合の様なグループが即座に思い浮かびます。私はまた人々にリシンキングスクール誌を予約購読するようになります。そうすれば、彼らは彼ら自身が外側にいるように感じないでしょう。そして私は彼らにアメリカ教育者ネットワークの「変化の為の教育」カタログを進呈します。私は彼らに、二ヶ国語教育の為の国家協会や多文化教育国家協会への参加を推奨します。あなたは地域の草の根活動組織や全国的グループの分会を探す必要です。これらの問題全てをあなた自身で扱わなければならぬと感じることは、あなた自身を打ちのめしてしまうかもしれません。

Q.多文化主義教育は、カリキュラムの因習的な側面についての表面的な知識に報いる標準化された検査によって傷つけられてきたと主張する人たちもいます。他方、幾つかのコミュニティグループ、特に有色人種のコミュニティにおいては、学校が明らかに彼らの子供たちの面倒をみるので、はるかに多くの責任を必要とする主張します。いかにして人々は多文化主義カリキュラムと学校の公平性のバランスのこれら二つの視点を約束するのでしょうか？

それはとても重要な質問です。私は単純に投げ出し問題を提唱しているわけではありません。教育を指南するために使われるものをテストすることは極めて重要です。私たちはどのように子供たちがしているかを観察する必要があります。なぜなら、有色人種の子供と低所得者層の白人の子供は歴史的に教育を受けてこなかったからです。そして、私は教育を改善するためのテストを信じています。

しかし、私は子供と学校を順序付けし、資金面での格差付けをするテストを信じていません。強く強調しておきたいのは、今現在、いちかばちかの資格試験により、非常に多くの人々がその過程の中で困惑しています。教師たちは私にテストの量によって科学はわき道に追いやられ、社会研究はわき道に追いやられ、そして伝統的カリキュラムに対して為されるいくばくかの荒廃があるだけです。

私たちはまた、知識の重要な形態を除外するような方法で子供たちが学ぶ物を定義しています。読解の問題を見てみましょう。カルフォルニアでは、第一言語がスペイン語やそのほかの英語以外の言語であるような子供たちに対してすら英語の読解試験の点数が評価されます。

子供の読解能力という観点で彼らは考えてすらいず、単に英語を読む能力という観点だけなのです。テストの点数を上げることについての議論の幾つかについて混迷させているの

がそれらの問題なのです。

Q.多くの都市部では分離に関する関心が不足しています。それは多文化教育にどのような影響があるでしょうか、そしてそれに対するどのような戦略があるでしょうか？

学校の分離は明らかに住宅の分離と結びついています。住宅の分離が活発に議題に上がらない限り、そして我々が学校の分離に関してのみ話し合っている限りは、それがどうなるのか私にはわかりません。1960年代、私たちは住宅の分離に取り組んでいました。私は現在それについて多くを聞いてはいないのです。

黒人が多くを占める、またはラテン系が多くを占める学校において、そこを悪い学校にするような内在する要素は無いのです。問題はリソースへのアクセスです。そして、それは明らかに都市部と郊外の学校の間のリソースの格差を見るときに起こっていることなのです。

2000年・2001年 冬

レイシズムについて話すことの意味

ポール・キヴェル著『レイシズムを根こそぎにすること』より抜粋

「レイシズムは我々の生活に日常的に影響がある。それはある部分では恐るべき力を持つ。というのは我々はそれについて話さないからだ。レイシズムに関して話すことはその力を弱め、我々を取り巻く恐ろしく居心地の悪い沈黙を打ち壊す。それについて話すことはそれをより恐ろしくなくする。」

レイシズムについて話すことは有色人種について学び我々の生活と真実の歴史を取り戻すことだ。我々は我々を否定してきた刺激的な方法で質問をし、学び、そして成長することができる。

レイシズムは有色人種を殺し、民主主義を損ない、我々の社会問題の多くと結びつき、はびこっている不正義である。それについて話すことは我々の社会を有色人種にとってより安全にし、そして我々にとって同様に安全にするのに役だつ。レイシズムについて話すことで、次の世代にレイシズムがはびこるのを防ぐことが出来る。レイシズムについて話すことは、それについて何かすることだ。レイシズムに関して話すことは恐ろしく混乱させるように思えるので、我々はそうすることの沢山の正当なしっかりした理由があることを忘れるかもしれない。レイシズムについて話すのがよいことである理由についてブレインストーミングすることは、役にたつグループ演習だ。

私たちは実際、全員いつも人種について話しているが、それを暗号文で行っている。経済や軍事、地域の問題や公衆安全や福祉、教育、スポーツ、映画についての我々の議論の多くが人種についてのことだ。我々がよく使う暗号文に、「下層階級」「生活保護を受けている母子家庭の母親たち」「貧困地区」「不法入国者」「テロリスト」「政治的正しさ」「侵略」「少数派のお手本」などがある。アメリカ国内であろうとなかろうと、そうすることを認めなくとも、これらの暗号は白人が人種や有色人種について話すときに使うものだ。

我々はレイシズムで非難される危険を冒す必要はない。我々は自分が言うことに対して責任を持つことを心配する必要はない。我々はこのコメントが人種についてのものであると特定することなしに単語をほのめかすことの相互の（白人の）理解を期待できる。有色人種の味方であるため、我々はレイシズムに関する我々の会話の中での白人の間の沈黙の暗号とごまかしを打ち破る。レイシズムを扱うことは我々の暗号の相互作用に気づき分析することである。